



アンケートの目的

市道末広町線の整備完了に伴い、商店街および沿線の住民を対象に、本事業で行った5つの取り組みや事業全体に対する評価、さらに今後の無電柱化の推進や末広町の賑わいづくりに対する意向等を把握するため実施したものです。

アンケートの調査内容

I. 5つの取り組みについて

- ・5つの整備施策について、その評価や受け止め、ご意見を伺いました。

II. 無電柱化の推進について

- ・無電柱化の取り組みに対して、どのように感じられているかを伺いました。

III. 工事に対する意見感想

- ・工事中の安全対策や配慮、対応の仕方などについて、ご意見等を伺いました。

IV. 末広町通りまたは周辺において、市が整備を進めてほしいこと

- ・今後、市にどのような整備を望むかについて、皆さまの声を伺いました。

V. 賑わいづくりについての意見・要望・提案

- ・地域の活性化やにぎわい創出に向けて、皆さまのアイデアや提案を伺いました。

■アンケートの概要

項 目	内 容
実施期間	令和7年7月1日～7月31日
対 象	整備沿線の商店街および住民
配 布 数	97部
回答方法	WEBフォームまたは紙アンケート
回 答 数	計30件（回収率31%）（WEB）：12件，（紙）：18件
性 別	男 15件 女 15件
年 齢 別	20代以下：2件 30～40代：6件 50～60代：14件 70～80代：7件 90代以上：1件

I. 5つの取り組みについて

項目	よかった (非常によかった・よかった・まあよかった)	普通	よくなかった (やらないほうがよかった)
取り組み① 終日一方通行化	<u>77%</u>	17%	6%
取り組み② 車道スラローム化	<u>67%</u>	27%	6%
取り組み③ 無電柱化	<u>84%</u>	13%	3%
取り組み④ 道路美装化	<u>74%</u>	20%	6%
取り組み⑤ 街灯の新設	<u>67%</u>	30%	3%
事業全体	<u>79%</u>	13%	8%

■今後の考え

全体として、本事業は実効性のある取り組みが実施され、多くの項目で高い評価を得る結果となりました。

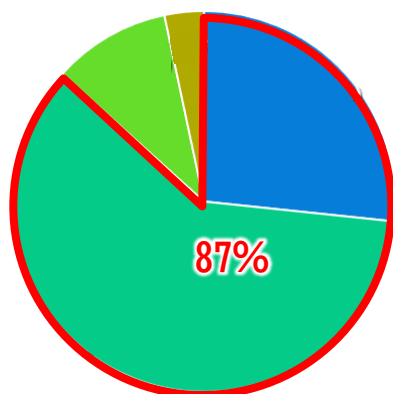
特に「無電柱化」は、景観の向上と防災性の強化という両面で市民の満足度が非常に高かったことは、無電柱化が市民生活の質の向上に寄与する有効な手段であることを示しています。

一方で、「車道スラローム化」や「街灯の新設」については、評価にばらつきが見られ、必ずしも全ての市民に効果が伝わっていない側面も明らかになりました。

今後は、評価の高い取り組みを都市整備に活かす一方で、効果が伝わりにくかった施策については説明や設計の工夫を行い、市民満足度のさらなる向上を図ってまいります。

II. 無電柱化の推進について

■無電柱化の推進についてどう思いますか



- 1. 積極的に進めるべき 8件 (27%)
- 2. どちらかといえば進めるべき 18件 (60%)
- 3. どちらかといえば進めなくてよい 3件 (10%)
- 4. 進めなくてよい 1件 (3%)

進めるべき (積極的に進めるべき・どちらかといえば進めるべき)	進めなくてよい (どちらかといえばすすめなくてよい・進めなくてよい)
<u>87%</u>	13%

■今後の考え

87%が無電柱化を支持しており、防災面（電柱倒壊の防止）や歩行者の安全性、景観向上などが主な理由となりました。

一方、反対意見（13%）では、工事による生活への影響や騒音・振動などが懸念されました。

宮古市無電柱化推進計画に基づき整備を進めつつ、生活への影響に配慮しながら、丁寧な情報提供を行っていきたいと考えています。

Ⅲ. 工事に対しての意見感想

○良かった点（評価された点）	×課題・不満点
(1) 夜間工事への感謝・労い ・「寒い冬の夜間工事、ご苦労様でした」といった感謝の声が複数あり、住民は工事の大変さを理解している様子。 ・配慮が行き届いていたという評価 ・一部では「いろいろな点で配慮が行き届いていた」との声もあり、対応が良好だった業者も存在。	(1) 工期・スケジュール関連 ・予定より大幅に遅れたことへの不満 ・業者間で事前周知に差があり、住民への配慮にバラつき ・工事休止が長期間に及んだことに対する批判 (2) 騒音・夜間工事のストレス ・夜間工事の騒音で睡眠妨害などの被害 ・タバコの吸い殻が排水溝に捨てられていたなど、作業員のマナー問題も指摘 (3) 施工・現場管理の問題 ・同じ場所での工事を何度も繰り返したこと ・住民が疲弊 ・業者間の連携不足や市担当者の見回りの少なさへの不満 (4) 商業活動・地域経済への影響 ・「開店休業状態が続いた」「営業に多大な影響」 ・駅前・末広町などで人流が減少したと感じた

■今後の考え

アンケート結果からは、工事の必要性について理解を示す声が多く見られた一方で、「説明不足」「マナーの悪さ」「スケジュール管理の甘さ」「地域経済への影響」など、さまざまな面で不満やストレスを感じたという意見も寄せられました。今後の工事においては、「丁寧な説明」「統一された対応」「確実な工程管理」を基本とし、地域に寄り添った丁寧な進め方をしていきたいと考えています。

Ⅳ. 末広町通りまたは周辺において、市が整備を進めてほしいこと

項目	内容
1. 安全で快適な歩行環境の整備	・通学・通勤に利用される歩道の整備は、市と県が連携し、広域的かつ計画的に進めてほしい
2. 水害・排水対策の強化	・山口川や排水設備の整備により、大雨時の氾濫防止や水はけの改善を図ってほしい
3. 空き店舗対策とにぎわい創出	・空き店舗の解消に向けた支援や誘致策を進め、人通りを取り戻す施策を期待 ・商店街組合との連携やイベント開催など、人が集まる取り組みを継続・強化してほしい
4. 迅速な対応と実行力	・各課題に対して、スピード感を持った対応と継続的な取り組みをお願いしたい

■今後の考え

関係機関と調整を図りながら、安全な歩道整備や排水対策を計画的に進めるとともに、空き店舗の解消や人が集まる施設・イベントの開催を通じて商店街の活性化を図り、地域課題にはスピード感を持って対応していきたいと考えています。

■意見等の整理

項目	意見・要望・提案
1. 空き店舗対策と店舗誘致	・駅前から末広町にかけて空き店舗が増え、商店街の活気が失われているとの声が多く、積極的な対策が必要。 ・補助金の活用や若者・県外市外からの出店支援、飲食店・喫茶店・軽食店など多様な店舗の誘致を期待。 ・特に高齢者や車を使わない方が不便を感じており、日常の買物ができる店舗の復活が望まれている。 市独自の支援制度があります。詳細はこちらから→ https://www.city.miyako.iwate.jp/gyosei/soshiki/sangyoshien_center/3/3/1699.html 
2. イベント開催の推進	・過去の夏まつりや七夕まつりのような思い出に残るイベントがにぎわいを生んでいたとの声があり、今後も継続的な開催を求める意見が多数。 ・広くなった通り空間を活かし、市内外から人が集まる企画の実施が期待されている。 ・一方で、イベントだけでなく日常的なにぎわいづくりが課題との指摘もあり、継続性ある施策が必要。 市独自の支援制度があります。詳細はこちらから→ https://www.city.miyako.iwate.jp/gyosei/soshiki/sangyoshien_center/3/3/1699.html 
3. 駐車場の整備と買い物環境の改善	・車での上街を前提とした駐車場整備を求める声が多い。駐車場がなければ客足は戻らないとの意見も。 ・車社会に対応した商業環境づくりが求められている。車での上街を前提とした駐車場整備を求める声が多い。
4. 行政・地域の役割と姿勢	・市職員自身が地域で消費することで、率先した地域経済への貢献を見せてほしいという提案も。 ・商店街や市と連携した継続的な支援体制の構築が重要。
5. まちの将来像への期待と不安	・工事は終わったが「道路は良くなったが、にぎわいは戻っていない」との実感が広がっている。 ・一方で、「人が集まる魅力があれば、にぎわいは戻る」という前向きな意見もあり、取り組み次第で可能性は十分あるといえる。

■今後の考え

末広町線の再整備をきっかけに、にぎわいの再生を望む声が多く寄せられました。空き店舗対策や駐車場の整備、イベントの開催、地域経済の循環など、日常的かつ持続可能なにぎわいづくりに取り組んでいきたいと考えています。

市・商店街・地域住民が連携し、「にぎわいのあるまち・歩きたくなるまち」の実現に向けて、具体的かつ迅速な施策を進めていきたいと思ひます。